

# 仕様書

## 1 入札条件

### (1) 入札対象物品名・数量

本入札の対象物品は下記の物品とする。

FD 搭載移動型 X 線透視装置 (詳細は別紙参照)

※運搬, 搬入, 調整費用等を含むこと。

### (2) 納入期限

2021年3月31日(水)

### (3) 納入場所

済生会新潟病院(新潟市西区寺地280-7)

### (4) 保守体制

#### ①保守体制

通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。

#### ②支援体制

年間を通じて24時間の連絡ができる体制であり, 障害時において復旧のため通報を受けてから, 問い合わせに対する回答や故障対応に関するサポートができる体制であること。

#### ③保証期間

納入検査確認後, 1年間は通常の使用により故障した場合, 無償修理に応じること。

## 2 設置条件

(1) 入札後実際の納入期日までにモデルチェンジ等により, 対象物品を納入することができなくなった場合には, 病院側と協議のうえ後継機種を納入すること。

### (2) 取扱説明

①取扱説明に関する教育訓練は, 当院が指定する日時, 場所で行うこと。

②操作マニュアルは, 日本語版を2部とする。

## 3 仕様

別紙参照とする

別紙詳細

1 仕様詳細

1	FPD 搭載モバイルCアームシステムは、以下の要件を満たすこと
1-1	X線発生装置は以下の要件を満たすこと
1-1-1	発生方式はインバータ方式であること
1-1-2	最大出力は 25.0kW 以上であること
1-1-3	最大管電圧は 125kV 以上であること
1-1-4	パルス透視フレームレートは最大 30 フレーム/秒が可能なこと
1-1-5	過負荷防止機能として、警告表示、ブザー音等を装備していること
1-2	X線管装置は以下の要件を満たすこと
1-2-1	回転陽極 X線管を搭載していること
1-2-2	X線管の焦点は 0.6mm 以下であること
1-2-3	X線管の冷却機構は水冷であること
1-2-4	X線管の陽極冷却効率は 90,000Hu/分以上であること
1-2-5	X線管の最大陽極熱容量は 365,000Hu 以上であること
1-2-6	X線管の蓄積熱容量は 5,000,000HU 以上であること
1-3	フラットディテクタは以下の要件を満たすこと
1-3-1	有効径が 30cm 以上のフラットディテクタを装備していること
1-3-2	フラットディテクタは 1,000x1,000 画素以上であること
1-3-3	視野の切替は 3 種類であること
1-4	Cアーム本体は以下の要件を満たすこと
1-4-1	Cアームの開口部は 84cm 以上であること
1-4-2	Cアームの深さは 70cm 以上であること
1-4-3	Cアームの主軸回転の角度は±200° 以上であること
1-4-4	Cアームスリーブ回転は 90/50° 以上であること
1-4-5	Cアームの首振り角度は±10° 以上であること
1-4-6	Cアームはフリーバランスが保たれていること
1-4-7	ケーブルは移動時にケーブル巻き込み事故を防止する機能を有していること
1-4-8	Cアーム上下動は 45cm 以上であること
1-4-9	Cアーム前後動は 20cm 以上であること
1-4-10	焦点からフラットディテクタの距離が 100cm 以上であること

1-5	本体機能について、以下の要件を満たすこと
1-5-1	19 インチ以上の LCD カラーモニターを 2 台装備していること
1-5-2	画像マトリクスは 1,280 x 1,024 以上であること
1-5-3	最大輝度は 400cd/m <sup>2</sup> 以上であること
1-5-4	自動輝度調整機能を有していること
1-5-5	透視/撮影条件の設定変更がタッチパネル操作で簡単に行えること
1-5-6	ロードマップ透視機能を有すること
1-5-7	本体のハードディスクに 300,000 画像以上の画像保存が可能であること
1-5-8	イメージローテーションを有し、透視を出さなくとも画像を任意の回転角度に調整できること。
1-5-9	モニター上に 16 分割にて表示が可能なこと
1-5-10	エッジ強調、コントラスト/ブライツネスの調整ができること
1-5-11	USB 又は DVD 媒体への画像保存が可能であること
1-6	オプション選択項目
1-6-1	DICOM 機能 (STORAGE/MWM) を有すること
1-6-2	DSA 機能を有すること。
1-6-3	透視に連動録画できるビルトイン DVD レコーダーを有すること
1-6-4	モノクロビデオプリンターを有すること
1-6-5	納入時に、滅菌カバーを付属すること
1-6-6	当院の手術室 6 の部屋に、画像送信用の LAN 配線及び情報コンセントの敷設を行うこと 工事の際は当院の現場スタッフと十分に打合せを行い、作業を実施すること
1-6-7	既設装置 シーメンス社 Arcadis Avantic の撤去を行うこと また、本装置は適切な廃棄業者に委託し、マニフェストを発行すること
1-6-8	新潟市保健所への装置納入前の届出および、装置納入後の届出の資料の作成を支援し 納入後に、線量測定を実施報告書を提出すること
1-6-9	FPD 搭載モバイル C アームシステムと当院の PSP 社の画像システム (PACS) との Storage 接続を行うこと
1-6-10	FPD 搭載モバイル C アームシステムと当院の PSP 社の放射線情報システム (RIS) との MWM 接続を行うこと
2	外部出力モニターは、以下の要件を満たすこと
2-1	モニターサイズは 49 インチ以上であること
2-2	電動式で上下動が可能であること
2-3	移動可能なキャスター付であること

3	その他 付属品
3-1	インジェクタ装置
3-1-1	インジェクタ装置は、バイエル薬品社の Mark7 Arterion : ペデスタルスタンド型を付属すること
3-2	X 線線量管理システム
3-2-1	X 線線量管理システムは、バイエル薬品社のラジメトリクスを付属すること
3-2-2	納入時に、当院の放射線科スタッフに操作トレーニングを行うこと
3-2-3	X 線線量管理システムとの接続については、当院の PSP 社の画像システム (PACS) と線量情報取得の接続 (QR 接続) を行うこと
3-2-4	X 線線量管理システムとの接続については、当院の CT 装置 (キヤノンメディカル製) Aquilion ONE から線量情報を取得できるように設定を行うこと
3-2-5	X 線線量管理システムとの接続については、当院の CT 装置 (キヤノンメディカル製) Aquilion ONE から線量情報を取得できるように設定を行うこと
3-2-6	X 線線量管理システムとの接続については、当院の CT 装置 (キヤノンメディカル製) Aquilion Prime から線量情報を取得できるように設定を行うこと
3-2-7	X 線線量管理システムとの接続については、当院のマンモ装置 (富士フイルムメディカル製) AMULET から線量情報を取得できるように設定を行うこと
3-2-8	X 線線量管理システムとの接続については、当院の血管造影装置 (フィリップス製) Allura Clarity FD20 から線量情報を取得できるように設定を行うこと
3-2-9	X 線線量管理システムとの接続については、当院の血管造影装置 (フィリップス製) Allura Clarity FD10 から線量情報を取得できるように設定を行うこと

他メーカー製の場合は、上記と同等とする。

## 2 その他

運搬、搬入、調整、設置費用等を含む。